

# ぶらり！「ほうほく」

令和2年5月

1 / 4

もうすぐ63歳を迎える私は、生まれてこの方山口県外に住んだことがない。別に県外を嫌っている訳ではないが、そんな山口県内にもまだまだ知られざる素晴らしいところがたくさんある・・・と思っている。

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

昭和56年4月、山口県に入庁した私の最初の赴任先は、今はなき、豊田土木事務所であった。当時、土木事務所は14事務所あり、その中でも豊田は規模的には小さい方であった。それでも工務課は二課あり私は工務第二課工務係に配属され、担当地域は当時の豊浦郡豊北町であった。先輩方の仕事を見よう見まねで覚えるのに必死であったが、たまには現場できれいな北浦の海を眺めながら一服したものである。約40年前のことである。たまたま島戸というところで休んでいた時、遠く見える角島と本土との間にある鳩島という無人島まで浅瀬が続いているようで、案外簡単に橋が架けられるのではないかと・・・などと思ったことも懐かしい。

その夢のような話が現実になろうとは・・・

そしてその建設に携わることができようとは・・・

平成8年4月、私は2度目の豊田土木事務所勤務を命ぜられた。

少し角島大橋建設事業について触れる。

角島大橋建設事業は、当時の町営渡船の特牛～角島航路が町道特牛角島線として路線認定されており、そのバイパス工事という位置付けで、平成3年度に事業化された。H3は豊北町の事業としてスタートし、

H4からは県の代行事業とされ現地の工事に着手したのはH5であった。以降H12.11.3の開通日に向けての工事が続くこととなる。

平成8年4月の角島大橋は・・・と言うと、本土側橋台1基、橋脚は28本中8本、橋桁は1,780m中約150mが姿を見せているという状況であった。

以降、担当主任として過ごした平成12年3月までの4年間で、下部工はすべて完成し、橋桁も角島まで到達した。そして引き続き平成12年11月3日の開通式に向けて、舗装や照明、防護柵などの工事が進められていった。

まず下部工についてであるが、前述のとおり角島大橋の橋脚は海中に28本ある。いずれも円柱形のコンクリート製であるが、よく見ればわかるかも知れないが、その直径は4mと4.5mの2種類がある。さらに海底下の基礎形式は多種多様で、地盤状況によって色々な工法が採用されている。

上部工は、北長門海岸国定公園にも指定されている周囲の美しい景観に溶け込むよう、また決して橋そのものが主張しすぎないようにシンプルにそして橋高も極力低く設計されている。近くのホテル西長門リゾートのフロント横のラウンジから眺めると橋桁の上に水平線があり烏賊漁の時期にはその水平線上に無数の釣り火が見え、まさに幻想的な光景を見ることができる。

角島大橋に関しては工事中のエピソードなどを含め、語るべきことは多くあるが、これ以降は別の機会に譲る。

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

前述のとおり、私は、今はなき、豊田土木事務所に通算7年間勤務したことになるが、担当地区はいずれも豊北町ということで、当然ながら個人的にはこの豊北町に対して大きな思い出や思い出がある。



海士ヶ瀬公園(本土側)

# ぶらり！「ほうほく」

令和2年5月

2 / 4

今回は角島を中心にその豊北町について、あくまで私個人の視点で一部を紹介したい。

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

まず「食」について少し触れる。

豊北町は海産物を中心にとにかくおいしいものが多いのは当然だが・・・

私が就職した昭和56年当時、事務所の先輩方から「豊北町の3大名物」について聞かされた。

- ・特牛の天ぷら
- ・矢玉の醤油
- ・二見の饅頭 の3つである。

残念ながら「特牛の天ぷら」は店を閉じて久しいが、あとの2つの名物は現役バリバリである。機会があれば是非ご賞味いただきたい。

ちなみに栗野の国道191号沿いにある「だるま堂」の「青海苔羊羹」もお勧めである。

～～旨い～～

『思わず日頃の煩惱を忘れてしまう』

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

阿川地区に大浦岳という山がある。標高は268mほどの山であるが、一応山頂まで悪路ながら車で登れる。しかし、離合の困難さなどを考慮すれば、国道191号そばの「ほうせんぐり海浜公園」あたりに車を停めて、片道約3km、野生の鹿と戯れながらの徒歩による軽登山の方がより楽しめるかも知れない。山頂には、各テレビ局の中継アンテナなどがあるが、周辺は「大浦岳森林公園」として整備されており、公園の見晴らし広場から眺める角島は格別である。残念ながら角島大橋は手前の山に遮られて全部は見えないが、角島は全体がよく見え、

その上方に水平線が見える。その水平線に夕日でも沈もうものなら、まさにこの世のものとは思えない絶景を見ることができる。是非、ご家族で、カップルで一度訪れてみられたらいかがだろうか。

～～美しい～～

『思わず日頃の煩惱を忘れてしまう』



二見饅頭(二見駅前)



ほうせんぐり海浜公園



大浦岳より角島を望む



大浦岳(見晴らし広場)



# ぶらり！「ほうほく」

令和2年5月

3 / 4

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

豊北町の観光と言えば角島が有名になっているが、角島観光の代表と言えば灯台である。イギリス人技師ブラントンが設計したという総御影石造りの美しい灯台は、歴史をも感じさせる存在である。

一方、角島大橋を渡り島に入ってすぐ右折し、地元が生んだ詩人・中本たかこの句碑や今では島唯一の旅館となった「角島旅館」を左手に見てさらに北上を続ければ、私の好きな観光スポットがある。「牧崎 風の公園」である。

角島は主に三つのエリアが観光スポットとしてPRされている。まず、島に入ってすぐ左側の橋詰公園あたりは「瀬崎 陽(あかり)の公園」として、前述の灯台まわりは「夢崎 波の公園」として親しまれているが、私はもう一つのこの「牧崎 風の公園」をお勧めしたい。ところどころに離合場所が整備されている狭い市道を、放牧されている牛を左手に見ながら抜けると視界は一気に開ける。ダルマガクの群生地と言われてはいるもののほかに何があるわけでもない。あるのは



角島旅館

駐車スペースとトイレ、そして広々とした広場、波打ち際には玄武岩が露頭しており、たまに釣り人が楽しんでいる。



牧崎(駐車場)



牧崎 風の公園

しかし目玉は何と言っても目の前に広がる荒々しい日本海の勇姿(冬には波の花が飛ぶ)と吹き抜ける風の心地よさである。一見の価値はあると思う。

~~心地良い~~

『思わず日頃の煩惱を忘れてしまう』

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

以上、私の感じるままに豊北の一部を紹介したが、当然知る人ぞ知る穴場はたくさんある。「旅好きの口コミで選ぶ！道の駅ランキング 2018」で1位に輝き、男子トイレ(女子トイレには入ったことがない)からの眺めが素晴らしい道の駅「北浦街道 豊北」や、全国屈指の透明度と純白の砂浜が自慢の土井ヶ浜などメジャーももちろん良いが、仕事上偶然知り得たり、当時地元の人に教えてもらったところなど、懐かしさとともにまた訪れてみたいものである。

県内にも素晴らしいところがたくさんある。

# ぶらり！「ほうほく」

令和2年5月

4 / 4



瀬崎 陽の公園



夢崎 波の公園



土井ヶ浜

## 【今回の一言】

- 20代で汗を流さなければ
- 40代で涙を流す。
- 30代で知恵を出さなければ
- 50代で部下がいなくなる。
- 40代で人脈がなければ
- 60代で仕事なくなる。
- 50代で人望がなければ
- 70代で孤独になる。
- 60代で希望がなければ
- 80代で後悔する。
- 70代で夢があれば
- 90代で歴史に残る。



藤山 一郎